



令和 5 年度

亀山市立亀山南小学校

研究デザイン



教育大綱 基本方針－Ⅰ

未来を拓く子どもたちの豊かな学びの実現

亀山市教育関係職員 研究基本方針

一人ひとりの児童・生徒が個性を生かしながらかまとともに主体的に学ぶために

- (1) すべての子どもの学ぶ意欲を高め、社会で生きてはたらく「確かな学力」を育てる教育活動をすすめる。
- (2) 教師の授業力向上を追求するとともに、系統的な指導をすすめる。
- (3) 人権を尊重し、なかまとともに、豊かな心と身体をはぐくみ、自己肯定感・自己有用感を高める教育活動をすすめる。
- (4) 地域の人材や活動を活用し、地域とともに特色ある教育活動をすすめる。

Ⅰ. 学校教育目標

のびよう ともに たくましく

「のびよう」…子どもが育つ学校 子ども自身が自らの力で成長する学校

「ともに」…仲間とともに、地域とともに なかまがつながり、みがき合い、地域とともに歩む学校

「たくましく」…つよく、やさしく、かしこく 健やかな身体、豊かな心、確かな学力を育む学校

2. 研究主題及び研究領域

考えや思いを主体的に表現する子の育成
「やってみたい・伝え合いたい・深め合いたい」を目指して

研究領域：生活科、総合的な学習の時間、特別活動

3. 研究主題設定の理由

本校は素直な児童が多く元気で健康的な学校生活を送っている。縦割り班で活動することが多く学年を越えたつながりを深めているが、ここ数年はコロナの影響でその機会は少なくなった。そんな中でも、高学年の児童は、掃除や苗植え集会、なかよし班活動などの場面で自ら進んで低学年の児童を支援する姿が見られた。誘い合って芝生の運動場で仲良く遊ぶ姿も日常的に見られる。

その一方で、自分から進んで意見を出すことができず、受動的な立場をとる児童もいる。また、個別に教師から意見を求められたり意見を文章に書いたりする時は考えを出せても、クラス全体や集会など集団の前で自発的に考えを話すことを苦手としている児童もいる。また、発言することができる児童も、自分の言いたいことを言って満足してしまい、相手の話を集中して聞き、その話の内容を正確に捉え、感想を持ったり、考えを広げたりするところまでは至っていない。また、書く力の面では、語彙力や長文を書き綴る力に課題があると感じている。

昨年度は、研究領域を道徳科に絞り、「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、具体的にどのような授業を行えば子どもたちが、「やってみたい・伝え合いたい・深め合いたい」と思えるのか、「授業で子どもを鍛える」という視点で研修をすすめてきた。同時に、道徳を含む、全ての教科指導の基盤となる「話し合いたいと思う」安心感のあるクラスづくりと授業改善に取り組んできた。「見通しをもった授業づくり」については、道徳の「授業のながれ」のあり方を考えることができた。学びの流れを黒板に書いて残すことで、授業の流れや学びを常に意識することができた。挿絵や図など黒板を活用することによって児童が考えるヒントとなったり、児童の思考を可視化したりすることができた。また、学習形態を自分で、ペア(グループ)で、全体でというように変えることで、より活発に話し合ったり、考えたりし、子どもたちの中に、みんなで考えていこうという雰囲気が広がってきた。

しかし、まだ友だちの意見をしっかり聞いたり、自分の考えや思いを主体的に表現したりするところまでは至っていない。

そこで、本年度も引き続き、「考えや思いを主体的に表現する子の育成」を研究主題、「やってみたい・伝え合いたい・深め合いたい」を目指して」をサブテーマに取り組む。研究領域は、生活科・総合的な学習の時間、特別活動とする。研究領域を生活科・総合的な学習の時間、特別活動に変更したのは、これらの教科・領域は、学習展開に子どもたちの思いや願い、考えを反映しやすく、さらに、学習活動の中で、様々な人と関わったり、多様な体験をしたり、情報を活用して協働的に学んだりすることが必要となるからである。そして、それらの学習の中で、子どもたちの「やってみたい・伝え合いたい・深め合いたい」を引き出していけると考えたからである。

4. 研究構想図

学校教育目標

のびよう とともに たくましく

研究主題

考えや思いを主体的に表現する子の育成
「やってみたい・伝え合いたい・深め合いたい」を目指して

亀山中学校区研究主題

自他を認め、ともに学び合い、
高め合う児童・生徒の育成

やってみたい！・子ども自身が目標や見通しをもって取り組める学習

伝え合いたい！・子どもと子ども、子どもと教師、地域の人が自分の考えを伝え合ったり、協働したりする学習

深め合いたい！・自分の思いや考えを広げ深める学習

主体的・対話的な授業づくり

生活・総合的な学習の時間

・探求の過程を大切にした授業づくり

課題設定

情報収集

まとめ・表現

整理分析

- ・子どもの思いをいかしたカリキュラムづくり
- ・地域の教育資源を活用した授業

深め合いたい！

特別活動

- ・自治的活動（児童会・委員会・学級会活動）の充実
- ・なかよし班（縦割り班）活動による異学年交流の充実



伝え合いたい！

確かな学力の定着

- ・eライブラリの活用
- ・自主学習ノート
- ・辞書引き学習
- ・「チャレンジタイム」の実施

安心して学べる環境づくり

- ・学習規律の徹底
- ・互いを認め合える温かな学級集団づくり
- ・子ども理解と支援の充実

やってみたい！

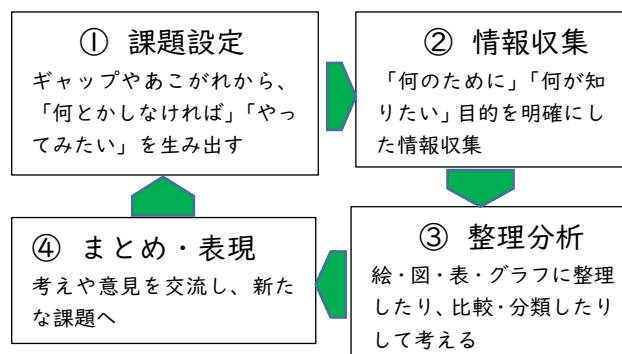
学びの土台づくり

5. 研究内容

(1) 生活科・総合的な学習の時間

- ・子どもの実態や思考にそったカリキュラム作り
- ・地域の教育的資源を活用した授業
- ・探求的な学習過程
- ・めあて、まとめ、ふりかえりを意識した授業
 - ① 授業の終わりに、次の授業のめあてや見通しを子どもと話し合って決める。
 - ② 総合も授業の終わりには、まとめをする。
 - ③ 振り返りを描くのは、まとめをし、次の授業の方向性を決めたあと。
 - ④ 授業のはじめは、めあての設定でなく確認をする。

探求的な学習過程



学習の基盤となる資質・能力 本校の重点項目

	低学年	中学年	高学年
③ 聞く話す	・順序に気をつけて話す。 ・相手の発言を聞いて、復唱する、共感する、質問する、感想を言う。	・理由や例をあげて話す。 ・自分の考えとの共通点・相違点を見つめながら聞く。	・事実と感想、意見を区別して話す。 話し合いを通して共通点や相違点を見つけたり、考えを広げたりする。
④ 集める	・図書や体験、人への質問、体験を通して情報を集める。 ・個数や人数を比べたり、数えたりして情報を集める。	・図書、インタビュー、見学・実験・体験、インターネット、アンケートを通して情報を集める。 ・情報を友達と共有して情報を集める。	・複数の図書や資料、目的に応じICT機器の特性をいかしながら情報を集める。
⑩ 解決する	・自分で考えた方法でわかりやすく表現する。 ・友だちに聞いたり相談したりしながら学習を進める。	・目的をもって、調査・実験・観察を行い、課題解決する。 ・目的に合った表現をする。 ・友だちのよさを認め合ったり、励まし合ったりしながら学習を進める。	・目的をもって、調査・実験・観察を行い、課題解決する。 ・伝える相手を意識して表現する。 ・互いの意見を出し合い、自分の意見を確かにしたり、よりよくしたりする。

(2) 特別活動

①ねらい

- ・自分たちで計画・活動する意義や楽しさを知る。
- ・つながる力、伝える力、生活を見つめ改善する力を伸ばす。
- ・高学年のリーダー性、計画性と柔軟性を伸ばす。
- ・学年をこえた子どもたち同士のつながりを深める

②活動内容

- ・生活目標、振り返り運動（学級会、生活委員会）
- ・なかよし集会（学年発表、委員会発表）・全校遊び、なかよし班（縦割り班）遊び
- ・なかよし班活動 ・地区児童会活動

(3) 確かな学力の定着

- ・「読む・読み取る力」の育成を図る…「よむ×よむ」を活用した授業実践
- ・「算数・数学的思考力」の育成を図る…「マス×マス」を活用した授業実践
- ・亀山授業デザインスタンダードプランの取組 ・eライブラリの活用

(4) 安心して学べる学習環境づくり

- ・学習規律の徹底 ・互いを認め合える温かな学級集団づくり ・子ども理解と支援の充実
- ・Q Uアンケート、人権アンケートを教育相談の実施